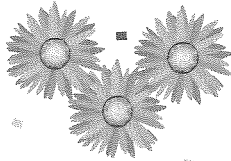




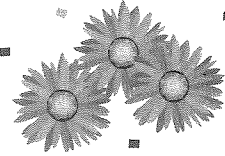
# 踊場連合だより No.110

発行日 令和3年6月24日

発行 踊場地区連合町内会 会長 菊池賢児 編集 広報委員会 委員長 浜野俊一 部数 5200部 印刷 フルヤ特殊印刷 TEL 823-3749



## ごあいさつ



踊場地区社会福祉協議会会長 坪島 博子



この度思いもかけず浜野会長の後を受け、会長を務めさせていただくことになりました。会計・総務・副会長として10年以上関わっては来ましたが、「会長」ということになるとまた改めて役の重さを感じております。

昨年に続きコロナウィルスの影響の続く中、今まで社会福祉協議会として地域の輪を広げようと、毎年改善を加えながら取り組んできた「おどりば文化まつり」「ふれあい昼食会」「ふれあいカフェ」は、もう元のような形では開催は難しいかもしれません。アタマもココロも発想の転換・柔軟性が求められていると

感じる局面で、果たしてどれだけのことができるのだろうか、と不安を抱えてのスタートというのが正直なところです。

しかし、踊場地区社協としては、地区の高齢者（民生委員・老人クラブ連合）こどもたちと保護者のみなさん（主任児童委員・青少年指導員）幅広い年代の健康（保健活動推進員）環境問題・詐欺などの知識（消費生活推進員）交通の安全（交通安全協会・母の会）などの問題に取り組む続ける姿勢を崩してはならないと痛感し、役員一同今まで以上に気を引き締めていきたいと思っております。

踊場は連合町内会・地区社協の両輪がしっかりした地区だと認識しておりますので、これからも「安心して暮らせるまち・踊場」を念頭に置き、協力して活動してまいります。

コロナ禍の中、歯がゆく思われる面もあろうかと思いますが、どうぞよろしくお願い申し上げます。

## 無火災の感謝状を授賞！

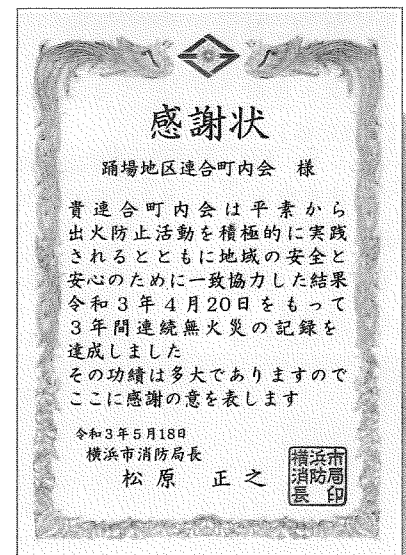
5月18日、踊場地区連合町内会は横浜市消防局長より感謝状をいただきました。

これは令和3年4月20日までの3年間、一度も火災が起きなかった功績を認められての授賞です。併せて戸塚区においては、3年間の無火災は初めてということが発表され、さらに嬉しい出来事となりました。

これもひとえに平素からの地域の皆さまのご努力の賜物であり、「安心して暮らせるまち・踊場」が実践された結果だと思えます。

本当にありがとうございます。なお、この記録は現在も継続中です。引き続き今後も火災の発生を防ぐため、一人ひとりの注意行動と地域での見守り活動をよろしくお願いいたします。

踊場地区連合町内会会長 菊池 賢児



### 踊場地区連合町内会 令和3年度の事業計画

「安心して暮らせるまち・踊場」を実現するために、コロナ禍においても皆さんのライフステージを配慮したまちづくりと地域活動を行っていきます。そして、住んでいる皆さん全員が地域の未来を考え、魅力あるまちづくりを進めるため、新たな居場所づくりや居住地まわりの防災・防犯活動の強化、そして「ふるさと踊場」の風景を大切に作る施策を展開してまいります。具体的には次のような事業を展開する地域経営を行います。

#### 〈令和3年度事業目標〉

- 踊場地区のまちづくりを推進するため、全ての住民との一層の話し合いを進める。
- 踊場地区社会福祉協議会との強力な連携を図る。
- 各自治会町内会での課題を地域全体の課題としてとらえ、解決策を検討する。
- 高齢者とやさしくふれあう活動を推進する。
- 防災活動を積極的に展開し、各自治会町内会の消火訓練を支援するとともに避難や火災対策、被災時における防犯対策に取り組む。
- スポーツ活動などを通じ、地域ぐるみの健康維持増進を図る。
- きれいなまちを目指し、誰にも優しい「まちづくり」などの踊場らしい風景づくりをおこなう。
- 「皆でつくる地域」をめざし、広報活動を充実させ情報共有を強化する。
- みんなで協力して防犯活動としての巡回パトロールを強化する。
- 「3R夢プラン」の更なる推進を図り、地域環境の向上に努める。
- 学校や地域施設との連携を図り、協働で課題解決を図る。近隣の連合町内会との連携を推進する。
- 魅力あるまちの実現を目指して、新たな開発への対応を検討していく。

### 踊場地区連合町内会 令和2年度決算・3年度予算

【収入の部】 (単位:円)			
	項目	2年度決算	3年度予算
年度収入	会費	1,753,560	1,753,200
	各種助成金	1,004,896	1,005,000
	雑収入	0	0
	銀行利息	25	0
	収入計	2,758,481	2,758,200
	前年度繰越金	3,224,921	3,723,752
収入合計		5,983,402	6,481,952
【支出の部】 (単位:円)			
	項目	2年度決算	3年度予算
連合活動費	事務費	1,023,536	130,000
	会議費	57,209	100,000
	会館使用料	46,900	100,000
	通信・交通費	69,760	80,000
	事業費	0	650,000
	活動助成費	332,245	800,000
	渉外費	10,000	130,000
	分担金	20,000	120,000
	防災費	0	10,000
	予備費	0	100,000
小計		1,559,650	2,220,000
助成金	事業運営費	205,000	205,000
	活動助成金	495,000	495,000
	小計	700,000	700,000
	支出計	2,259,650	2,920,000
次年度繰越金		3,223,752	3,561,952
支出合計		5,983,402	6,481,952

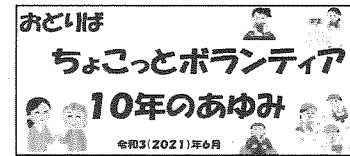
### 「ちょこっとボランティア」10歳になりました

きっかけはスーパーでの立ち話「このあたりは一人暮らしの高齢者が多く、ちょっとしたことでお困りの方も多はず。ちょこっと手を貸してあげたらどうかしらね」と。地区社協の定例会で提案して仲間を募り、少しずつ会の輪郭ができてきました。2ヵ月後「ちょこっとボランティア」略して「ちょこボラ」が誕生しました。ごみ出しや草むしり、買い物代行や電球の付け替えなど、始めると口コミで依頼が来るようになりました。また地域のイベントのお手伝いとして、高齢者昼食会の準備・調理・片付けや、体育祭・文化まつり・地区センターまつりの補助等もやってきましたが、昨今はコロナウィルスの影響でいずれも中止になってしまいました。「3密」が心配な依頼はやむを得ずお断りすることもあり、こしばらくは地味な仕事が多くなっています。

様々な研修の場を設けて個人情報保護の学習をしたり、車いすの介助体験や庭木の剪定の実習をしたりと各自のスキルを伸ばすようにしています。目下の悩みはスタッフの高齢化です。ふと気がつけば50代は60代に、60代は70代に、70代は…。

元気なお仲間を待っています。興味・関心のある方、この指と〜まれ!

(ちょこっとボランティア代表 石田 久乃)



記念誌作りしました。

#### 連絡先

坪島 (090-9688-5149)  
石田 (080-5682-0583)

### 交通安全協会踊場支部の活動

現在、8人の支部員で運営している交通安全協会踊場支部の活動も、コロナ禍での行事中止のために最小限になっている。毎月1日の県民交通安全日と15日の高齢者交通安全日を中心に、4つの近隣の小中学校の通学路に朝7時30分～8時30分頃まで交通整理と交通指導で立っている。

私の受け持ち区域の踊場汲沢地区の通学路も昔から比べ一部道幅も広がったが、まだ狭い所があり坂道も多い。最近はカーナビ搭載車も多くなり、通学時間帯の通学路を「抜け道」として利用する車が増えてきたように思う。朝の通学時間帯に道幅いっぱい広がって歩く子供達の後に、何台もの車がのろのろと続いている光景を見るにつけ、片側1列に歩いてくれたらと思うばかりである。雨の日などは百十一階級の所は更に危険度が増すので、「学援隊」と共に子供達の見守りと登校指導をして頂ける仲間が増えればと心より願う。

最後に私もこの3月で支部長の役を降りました。長年にわたるご指導本当にありがとうございました。新任の支部長には踊場町内会の成宮さんが就任します。

よろしく願いいたします。

(交通安全協会踊場支部 笠 宏多)



### 踊場地区社会福祉協議会 令和3年度の事業計画

踊場地区社会福祉協議会は、4月18日に予定していた総会の審議事項を書面表決の形で承認を得て、4月末に新体制でスタートいたしました。昨年に続き、残念ではありますがコロナの影響を避けることはできませんでした。本年度の事業計画は、コロナウィルスの状況がどの程度改善されていくかがつかめない中、可能な限り社協としての基本的な活動を継続していきたい、との思いで従来通りの内容を提示いたしました。「ふれあい昼食会」「ふれあいカフェ」秋の「おどりば文化まつり」のように多数の人が集う企画は何らかの新しい工夫が必要と考えておりますが、できる限り絶やすことなく取り組んでいきたいと思っております。

「ちょこっとボランティア」「ひよこクラブ」は、現在コロナ禍の中でも安全に配慮しつつ通常活動を行っていますし、民生委員も接触に配慮しつつ見守り・相談活動を続けています。昨年はあまり動けなかった各専門部もワクチン接種の進捗状況に目を配りつつ、実施できることを探りながら始動していく予定です。サロン活動・健康体操・配食等の事業支援も変わらず継続して実施します。「安心して暮らせるまち・踊場」のために本年度も地道に活動してまいります。

### 踊場地区社会福祉協議会 令和2年度決算・3年度予算

【収入の部】 (単位:円)			
	項目	2年度決算	3年度予算
収入	市社協助成金	50,000	50,000
	区社協助成金	255,000	267,000
	連合助成金	700,000	700,000
	その他の助成金	39,000	39,000
	社明運動実施支援金	30,000	30,000
	昼食会参加費	0	10,000
	前年度繰越金	232,990	524,116
収入合計		1,306,990	1,620,116
【支出の部】 (単位:円)			
	項目	2年度決算	3年度予算
事業費	ふれあい昼食会	134,908	170,000
	サロン活動	77,499	100,000
	子育て支援活動	30,000	30,000
	ボランティア支援	20,000	30,000
	訪問活動支援	54,421	69,000
	ちょこっとボランティア	4,617	5,000
	おどりば文化まつり	0	140,000
	研修費	0	10,000
	事務費	44,612	50,000
	事務消耗品・印刷	32,257	35,000
内訳	会館使用料	10,835	10,000
	交通通信費	1,520	5,000
	会議費	13,599	20,000
内訳	渉外費	5,085	60,000
	各種交流費・祝金	5,085	50,000
内訳	慶弔費	0	10,000
	活動助成費	338,933	490,000
	民生・児童委員	42,430	110,000
	保健活動推進員	30,000	30,000
	交通安全協会	88,087	90,000
	交通安全母の会	34,836	45,000
	青少年指導員	80,880	100,000
	消費生活推進員	25,000	25,000
	老人クラブ連合	37,700	50,000
	保護司	0	40,000
内訳	会費	10,000	10,000
	予備費	524,116	436,116
	支出合計	1,306,990	1,620,116

### 地域のボランティアが指導するチーム紹介

#### 戸塚インディアンズ (少年少女ソフトボールチーム)

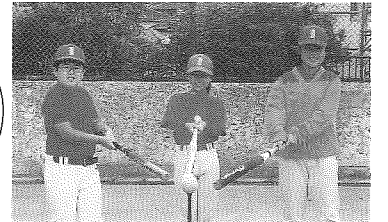
1982年、東汲沢小学校区4町内会の子どもたちでスタート。仲間が増え最大12の町内会チームで活動(春季・夏季・秋季・卒業記念大会開催)。数年後、チーム数が少なくなったため選抜チームを結成し「横浜市少年少女ソフトボール連盟」に加入「踊場少年ソフトボール選抜」として活動していた。

1997年ユニフォームを作成しチーム名「戸塚インディアンズ」とする。何年かは負けが続いたが厳しい練習の成果が出て公式戦でも勝てるようになりました。練習で大切にしているのは基本の練習と礼儀作法です。未経験の選手が練習を積み重ね成長していくのは素晴らしいことです。

現在、元高校球児の監督他のボランティア指導のもと、毎週日曜日、午前9:30～12:00(第2は午後1:00～3:30)踊場公園グラウンドで、コロナ対策をして活動しています。

「とりあえずやってみよう!ソフトボール」

小学校  
1年生から6年生の  
子どもたち、是非グラウンド  
に遊びに来て下さい。  
体験してみよう!



(戸塚インディアンズ会長 難波 健吾)

連絡先 自宅 (045-881-9321)・携帯 (080-5038-0578)

#### 汲沢マリナーズ (少年少女野球チーム)

2020年、創立20周年を迎えた汲沢マリナーズです。

ボランティアの指導者のもと、現在小学校1年～6年の22人が在籍し、毎週土曜、日曜、祝日に踊場公園、汲沢小学校、東汲沢小学校で活動しています。

昨年来のコロナの影響により、試合数減少・練習場所の制約があるなか、毎回練習前に健康管理表による部員の体調を確認・手洗い・アルコール消毒を徹底するとともに、ミーティング・移動時にはマスク着用の徹底により感染症対策を行っています。

1人でも多くの子どもに野球は楽しいと感じてもらえるように、随時体験・見学を受け付けております。ご興味ある方はマリナーズのホームページをご覧ください。

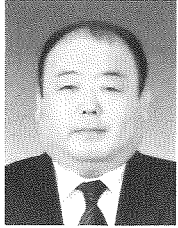
(5/15に開催した野球体験会では18名の方にご参加いただきました)

(汲沢マリナーズ 西澤 麻実)



## よろしくお願ひします

### 戸塚中学校校長 栗田 智則



この4月に、歴史と伝統のある戸塚中学校校長として着任しました栗田智則(くりたともりの)と申します。

踊場地区連合町内会の皆様には、日頃より本校の教育活動にご理解とご協力を賜り、心より感謝申し上げます。

本校の学校教育目標は「認め合い・高め合い・成しとげる」です。子どもたちは、地域の皆様に温かく見守っていただきながら、学習活動等に日々励んでおります。私自身「1人を大切にしたい温かみのある学校」を目指して、誠心誠意尽力してまいりますので、どうぞよろしくお願ひいたします。

### 汲沢小学校校長 高村 彰一



この4月に、汲沢小学校校長として着任いたしました高村彰一(たかむらしょういち)と申します。

日頃より、本校の教育活動にご理解とご協力をいただきまして、誠にありがとうございます。

本校は、「共に生き、共に学び、自ら生活を高める子ども」の育成を目指し、保護者、地域の皆様と一緒に教職員一同、日々の教育活動に取り組んでおります。現在は、コロナ禍にあり、皆様とふれ合うことが難しい状況ですが、皆様と「共に」あゆむことができますよう、引き続き温かなご支援をよろしくお願ひいたします。

### 矢部小学校校長 山口 恭史



この4月に赴任しました山口恭史(やまぐちきょうじ)と申します。どうぞよろしくお願ひいたします。

西区の稲荷台小学校から転任してまいりました。子どもたちが素直で、自然豊かな矢部小学校に着任できたことをとても嬉しく思っています。「友達が好き、先生が好き。そして学校が好き、自分が好き。」と思って毎日を過ごしている姿を目指して、子どもたちの安全、人権、学習を軸にした、「1人を大切にする教育」の実践に努めていきたいと思います。今後とも学校へのご理解とご協力を賜りますよう、よろしくお願ひいたします。

### 踊場地区センター館長 根本 道夫



4月に踊場地区センター館長として着任しました根本道夫(ねもとみちお)と申します。コロナ禍の中、地区センターのご利用に際しましてご不便をおかけすることと存じますが、何卒ご理解とご協力をお願ひいたします。

踊場地区連合町内会の皆様方には地区センターまつりをはじめ、大変お世話になることが多いと思っておりますが、一刻も早く踊場地区連合の一員となれますよう努めてまいりますので、どうぞよろしくお願ひいたします。

### 予断なき余談(コラムのようなもの)Vol.11

自民党は5月24日「LGBT理解増進法」を条件付きで承認しました。約半数が反対したということですが、表向きの理由はともかく(まあそれもおかしい理由ではあるように思いますが)反対意見の本音も聞いてみたいものです。

ところでみなさんは「LGBT」ってなんだかわかりますか? レズビアン・ゲイ・バイセクシュアル・トランスセクシャルの頭文字です。セクシャルマイノリティー(性的少数派)を表す言葉ですが、当事者に言わせるとその4つでは収まらないとのこと。同姓愛にも色々な形がありバイセクシャルにも細かく分ければパンセクシャルやポリセクシャルなどがあります。異性装にしても例えば生物学的男性の場合、女装・ドラッグクイーン・男の娘・ニューハーフなどがあり、その中でも同性が好きなパターンや異性が好きなパターン、どちらも好き…など多様な想いによって違うのです。

最近ではセクシャルマイノリティの方たちも多くのメディアに登場して以前と比べれば認知度・理解度も上がってきたように感じますが上記のように「毛嫌い」する方も相当数存在するのも事実です。でも人それぞれ顔や肌の色、目の色が違うように愛する形や性的志向が違っていいはず。「同性愛者は子供ができないから生産性がない」と言い放ったお方がいますが、どこかの国ではゲイカップルとレズビアンカップル同士で人工授精して子供を設けた例もあります。反対に異性で婚姻したけれど出来ない、または作らないパターンありますよね。そういう方たちも生産性が無いと否定するのでしょうか?人は人、みんな違ってみんな良い。他と同じじゃつまらないよね。 T.N.

### 編集後記

コロナ下での活動も2年目となり、今年度は何とか工夫をして活動しようとの模索がふえています。元気な姿を伝えていきます。

〈メンバーが変わりました。〉

委員長: 浜野 俊一	委員: 新倉 卓	石田 久乃
副委員長: 渡邊 こずえ	牛頭 あゆみ	伊藤 市郎
顧問: 猪狩 秀雄	渡田 宏	伊賀 博文

### 青指からのお知らせ

6月13日に予定していた「魚釣り大会」は延期となりました。実行日が決まりましたら再度お知らせいたします。

(青少年指導員 新倉 卓)